

小中学校の給食の充実と保護者の負担軽減を求める陳情

(文教委員会付託)

受理番号 第 120 号

受理年月日 令和4年6月10日

付託年月日 令和4年6月21日

陳情者
.

陳情原文 日頃からの子どもと教育へのご尽力、誠にありがとうございます。

江戸川区は、子育てしやすい区として評価が高く、大変嬉しいことです。しかし、コロナパンデミックが世界中に広がり、日本も多くの犠牲を伴う危機的な状況になりました。この事は多くの経済的に困難な状況を生み出しました。そして、ウクライナ戦争や異常な物価高騰は区民の生活を直撃し、特に子育て世代には深刻な影響を及ぼしています。給料がなかなか増えない状況、貯蓄に回す余裕もない生活状況での教育費への出費は厳しいものがあります。格差と貧困の広がりがますます社会問題化しています。

子ども達は、みんなと一緒に食べる学校給食を楽しみにしています。「まともな食事は給食だけ」「一日の食事が給食だけの生徒もいる」など学校給食の果たす役割はコロナ禍で再認識され、かつてなく重要になっています。家庭の状況に関わらず、安心して食事ができることは、子どもの情緒の安定にとっても大切なことです。

未来を担う子ども達の健やかな成長・発達を育む学校給食の拡充は、教育の一環として位置付けられるものです。学校給食の無償化は「義務教育は無償」という憲法第26条の原則からも、子どもの貧困対策としても大きな意義があります。

江戸川区では、2020年度からの給食費の値上げに対する激変緩和措置を行っていただきました。また、第3子の無償化が喜ばれていることは言うまでもありません。しかし、緩和措置は今年度で終了となります。

今日の状況は、3年前と大きく違っています。物価高が給食の食材に影響していないか、給食費の負担が大きくなるのではないかと等、心配されます。

子育てにやさしい江戸川区として、将来世代への支援を、行政をあげて行っていただきたく、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 学校給食の充実と給食費の保護者負担軽減を行ってください。
- 2 安心して子育てできる支援策を広げてください。